



かみさと

議会だより

No.72

平成28年9月



レクリエーション協会による
神保原駅南ロータリーの花いっぱい運動



上里町マスコットキャラクター
こおぎっち

議会映像
配信中！



6月定例会 一般会計補正予算を可決 ②

特集・議会映像配信！ ③

6月定例会一般質問に5人 ④

追跡！一般質問 あの質問はどうなった？ ⑩

記事の一部に読みやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています。

第3回 6月 定例会

6月3日～9日



◆臨時福祉給付金・年金生活者等支援臨時福祉支給事業を含む一般会計補正予算を可決

◆児玉郡市広域市町村圏組合議員に納谷克俊議員と猪岡 壽議員を選出、本庄上里学校給食組合議員に戸矢隆光議員を選出

6月定例会は、6月3日に開会され、議員5名の一般質問や補正予算、児玉郡市広域市町村圏組合議会議員選挙、本庄上里学校給食組合議会議員選挙、人事案件を審議して9日に閉会しました。

◆補正予算◆

議案第30号
平成28年度一般会計補正
予算について

概要 歳入歳出それぞれ7678万5千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ89億1128万5千円とするものです。

原案可決

◆選挙◆

選挙第13号
児玉郡市広域市町村圏組合
議会議員選挙について

要旨 広域組合議員である伊藤裕議員と齊藤 崇議員が辞職したことに伴い、新たに組合議員を選挙したものです。

選挙結果

◆人事◆

諮問第1号
人権擁護委員の推薦につき
意見を求めることについて

概要 委員である谷ヶ崎正子氏が平成28年9月30日で任期満了となるため、再任の推薦に意見を求めるものです。

同意

選挙第14号
本庄上里学校給食組合議会
議員選挙について

要旨 給食組合議員である猪岡 壽議員が辞職したことに伴い、新たに組合議員を選挙したものです。

選挙結果

指名推薦により、戸矢隆光議員が当選

平成28年度

補正予算

主な事業

臨時福祉給付金・年金生活者等支援臨時福祉(低所得年金生活者)支給事業
3624万円

平成27年度臨時福祉給付金(簡素な給付措置)の支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる方に3万円を支給

予防対策事業

307万3千円

B型肝炎予防接種委託料

健康推進事業

492万7千円

健康長寿埼玉モデルを実施するための健康プログラム実施委託料等

農業振興事業

3188万6千円

経営体育成支援事業補助金、畜産クラスター強化対策施設整備事業補助金

議会録画配信始めています!

上里町議会では、町民の皆さんに、議会をより身近なものに感じていただくため、インターネットによる映像配信を行っています。

- ◆議会ってどうしているの?
- ◆議会の傍聴に行きたいけど平日の昼間だから・・・
- ◆役場まで行くの大変だな・・・

そんなときは…!!

スマートフォン・
パソコン

で一度のぞいてみませんか!



上里町マスコットキャラクター
こおぎっち

パソコンからは…



Q. どうやって見るの?

- A. ①上里町ホームページから上里町議会ページへアクセスし、録画配信をクリック
②上里町議会 議会中継の URL に直接アクセス
③スマートフォン・タブレットは QR コードから簡単にアクセスできます

Q. 何が見られるの?

- A. 本会議の一般質問の様子をご覧いただけます。なお配信は本会議終了後、10日前後になります。

- ※ 議会放送の視聴は無料です。ただし、視聴に対する通信料等は、視聴者の方のご負担となります。
- ※ 配信されている映像及び音声は、上里町議会の公式記録ではありません。

スマートフォン・ タブレットからは…



上記のQRコードから簡単にアクセスできます!



新井 實



首都直下地震の備えとして感震ブレーカーの普及促進について

答 感震ブレーカーの存在を住民に周知し、電気火災から地域を守って行きたい

質問①

第3子以降の子供を持つ世帯の支援策について

問 埼玉県内の自治体が3人以上の子供を持つ世帯の支援策に力を入れていることについて。

答 現在、上里町が行っている多子世帯による支援策につきましては、保育料の第3子以降無料化がございまして、平成27年度につきましては、国の制度ではつきましては、国の制度では保育園に同時入所していることが条件でしたが、上里町では兄、姉の年齢に関係なく、第3子であれば実質無償化の完全実施を行いました。一旦保育料を納付して頂き、補助金として121人の児童に対し、2842万450円の支給を行いました。多子世帯に対する財政的な支援としては、坂戸市や行田市が行っている多子世帯の給食費無料化や北本市や久喜市の多子出産祝い金などがありますが、長期的な財政面も考慮しながら、これらの施策も考えていきたいと思います。

質問②

運動会での組み体操の事故が多発していることについて

問 学校の運動会の組み体操で事故が全国的に多発し、高さ制限の動きや禁止する自治体もでてきたことについて。

答 教育長 上里町では、運動会において組み体操を実施するかしないかについては、各学校の実態に応じて各学校の判断に任せておりますが、組み体操を実施する際には、他の競技同様にケガのないような練習も含め、十分安全に配慮するよう指導しています。なお、昨年度の運動会において組み体操を実施したのは、小・中学校合わせて7校中、小学校4校でした。

質問③

熊本地震から学ぶ地域防災計画について

問 熊本地震から学ぶ上里町地域防災計画の在り方について。

答 埼玉県には全国97の主要活断層のうち、深谷断層帯・綾瀬

川断層帯と立川断層帯があります。埼玉県地震被害想定調査によりますと深谷断層帯と綾瀬川断層帯を一体化した最大級の地震が発生した場合、上里町は最大震度6弱から6強と推定されております。

上里町では、平成25年3月に地域防災計画を改定し、大規模な地震が発生した場合は、地域防災計画の中にある震災予防計画や震災応急対策計画、震災復旧計画などに基づき対応することになります。ライフライン施設の応急対策については、防災上重要な建築物を優先するとともに、人命に関わる箇所、災害状況、被害状況などを勘案し、復旧効果の最も大きいものから順に関係機関と調整をして実施していきたくと考えております。

質問④

首都直下地震の備えについて

問 首都直下地震の備えとしての感震ブレーカーの普及促進について。

答 大規模な地震発生時に速やかに電力供給を停止させる感震ブレーカーの必要性については、防災関係者の中で取り上げられてきましたが、普及率は極めて低い状況であります。普及が進まない要因としては「感震ブレーカーの存在が知られておらず、その必要性が理解されていない」などがあるようです。今後、広報かみさとや公式ホームページなどを通じ、感震ブレーカーの存在を住民に周知し、電気火災から、家、地域を守る取り組みを行っていきたく考えております。



沓澤幸子

問

字の集会所の施設改修や備品購入に補助を！

答

集会施設の改善も必要と考え、前向きに検討したい

質問 1 防災対策について

1冊に作成したい。

問 地震年表によると、マグニチュード6以上の地震が20世紀は100回、21世紀は4月の熊本地震で114回です。記録や遺跡発掘調査で、818年（弘仁9年）関東北部に大地震の発生が判っています。「埼玉防災マニュアル」では、関東平野北西縁断層帯地震が発生した場合、上里は最大深度6強の予想です。台風や低気圧による集中豪雨被害も心配です。町は地震と洪水・内水ハザードマップを全戸配布していますが、避難訓練の実施やハザードマップの説明会を行うなど活きた計画にすること。

答 今年度は公民館の出前講座の中で防災編を計画。地域防災リーダーを先頭とした自主防災組織の育成も大切。各種団体を通じて防災マップを使用した図上訓練と実際の避難訓練を実施しながら、より整備された地震と洪水・内水ハザードマップを



問 砂利採取した近くの土地の、地震や大雨などの影響はどうか。

答 農地の砂利採取は、314軒、約25%ですが、保安距離をとっているので隣接の宅地に影響はない。

問 町の木造住宅耐震診断と改修補助制度は、3年で終了したが、熊本地震では新基準建設の建物も倒壊しており、旧診断建物の診断及び補強の促進が重要です。住宅改修等資金補助金に耐震診断・改修工事を含ませ、補助限度額を上げること。

答 町の制度は活用実績がないが、理解を深められるよう情報提供に努め、住宅の耐震化とリフォームの組み合わせなど支援内容について調査研究したい。

問 県は全世帯対象に、希望する県民の家具類の固定状況の相談や見積もり無償の「家具固定サポーター登録制度」を行っています。町の高齢者・障害者宅家具転倒防止対策補助も、希望者を待つだけでなく、県の制度を知らせ積極的に推進すること。

答 必要な方に多く利用していただきたい事業です。広報やホームページへ掲載し、民生委員・児童委員に説明を行うなど、町民への周知をお願いしている。

質問 2 字の集会施設の修繕費補助について

問 身近な各字の集会所は、年数が経過し修繕が必要な建物が多く見受けられます。一方で、交流の場の提供や健康寿命を延ばす取り組みが広がっており、使いやすく安全な施設を維持できると、施設改修及び備品整備購入等の補助制度を設けると。

答 各字の集会施設は56か所です。指摘の通り県の補助金は、小規模修繕事業は対象外です。集会施設の環境改善も必要と考えており、前向きに検討したい。

戸矢隆光



問

町立保育園の今後の計画は？

答

公立保育所としてのサービスのあり方や今後必要とされる子育て機能などについても検討したい

質問 1
上里町の災害に対する対応について

問 国や各自治体も東日本大震災の経験を踏まえ、地域防災計画の改訂などを行ったが文章上

のものと同場で働くのでは大きく乖離があるのでは。職員一人ひとりが危機管理意識をもち日頃の実践訓練の大切さが一番ではないか。

答 いつどんな自然災害が起きかわからないので、それらに備えた訓練や啓発は必要と思っっている。保育園、小・中学校、公民館では定期的に避難訓練を行っているっており、役場庁舎では27年度には避難・通報・消火の総合訓練と全国瞬時警報システムの訓練放送と併せてシェイクアウト訓練を実施した。今年度は職員が迅速に対応できるように地図を用いて机上で防災対策を想定する訓練(図上)をしたいと考えている。

問 避難所などに職員が足りないといったことが言われるが、経験豊富な人を出来るだけ活用をし、実際に現場で活動する人などに災害の体験談や模擬訓練をしたらどうか。

答 災害のために職員を増員することは現時点では非常に難しい。国からの応援や他の地方公共団体からの応援、災害ボランティアなどを受け入れる体制の整備を今後図ってまいりたい。

問 町にも深谷断層が東西に走っており自然災害もあわせて、今後とも十分な備蓄等も含めた災害用の予算を取る必要があるのでは。

答 町にも深谷断層と綾瀬川断層が一体化した最大級の地震が発生した場合、震度6弱から6強の地震が予想されるが、備品の調達についてはアルファ米3000食、クラッカー3500食、補水1200本、毛布752枚、防災アルミシート1000枚、簡易トイレ1400回分です。

質問 2
町立保育園について

問 上里町に2つある公立保育園は耐震診断により倒壊のおそれがあるとのこと、プレハブ園舎の3年リース契約の半分が経過をしているが、これまでの進捗状況や今後の計画は。

答 27年9月の全員協議会に現在のリース契約を2年4ヶ月延長32年3月までとし、民間保育園の整備状況を見定め、保育園の必要量を確定し、民間事業者からの建設希望、拡張希望の状況や町の財政負担を考慮すると、公立保育園は70人定員の1園が望ましいとのプロジェクトチームの方向性を報告したところであります。今年度から公立

保育所建設等検討委員会を開催し、公立保育所としてのサービスのあり方や今後必要とされる子育て機能などについても検討したい。
問 自治体によっては公立から民間委託に移行しているところ

もありませんが、公立ではなくてはならないところもあるように思います。公立を潰すわけにはいかないと思っています。今後色々な角度から1園になった場合の長所や短所、預けられる時間の工夫などを検討して、働きたくなるようなお母さんが出てくるような目線にあった検討をしていただきたい。

答 新しい園を1つとなると中央かどこかになると考えるところであります、今後検討委員会で検討したい。



平成26年12月から使用しているプレハブ園舎



飯塚賢治

問

障害者サポート事業タイムケア利用料を所得割に

答

財政負担の見通し等を考慮しながら見直しを検討してまいりたい

質問 1
国土強靱化地域計画の策定について

問 地域計画に基づき実施される取り組みに対する関係府庁の支援があるが、策定する考えと内容について、どのようなものを検討するのか。

答 上里町の近年の自然災害は、2年前の大雪を思い出す。また、直下型の地震や台風、ゲリラ豪雨などの風水害も心配される。住民の生命や財産が守られるとともに上里町の持続的な成長が促され、いつまでも元気であり続けるためにも強靱化の取り組みは必要。今後は大規模自然災害により起きてはならない最悪の事態を想定し、事前に備えるべき目標や内容をどのようにするか策定の有無を含め、県や近隣市町村の策定状況や内容を踏まえて検討していきたい。

質問 2
若者の政策形成過程への参画について

問 若者が社会における影響力を実感できるような取り組みとして、若者議会等の開催における若者の登用について。

答 若者議会のような若者の視点で町の問題や必要な施策を考え、若者の持っている魅力のある感性やアイデアを政策形成に生かしていく取り組みが非常に重要と考える。これまで各種計画の審議会の委員として若者の登用を図ってきたが、若者にとって政治や行政がより身近なものになるよう、さらなる積極的な取り組みを進めていくよう考えている。

問 上里町の将来を見据えた若者の政策形成過程への参画を促す若者層を対象とする意見聴取について。

答 積極的に若者層への意見聴取を行っていく。

質問 3
地域で取り組むひきこもりの社会復帰支援について

問 地域で就労できずに引きこもっている方の実態調査は、町ではできているのか。

答 平成25年に山形県が、平成26年に鳥根県が公表した引きこもりに関する調査結果では、両県において引きこもりの半数は40歳以上であることが明らかになり、40歳以上の引きこもりは全国で100万人を上ると推計もある。現在実態調査は町では行っていない。

問 引きこもりの高齢化が明らかになる中、障害や年齢に関係なく地域交流の場をつくってもらいたい。

答 現在、主に高齢者を対象とした「ふれあいサロン」があるが、今後は障害者や引きこもり等の悩みを抱えた方も集えるような「ふれあいサロン」の可能性についても関係機関と連携し

て調査研究を行い、引きこもりの社会復帰を支援していく。

問 現状では、障害者の社会参加を促すために引きこもらないよう極力、外出させてあげたいとしても「障害者サポート事業」のタイムケア利用料は、1時間950円と負担が重いためこれを所得割にできないか。

答 利用者負担額の軽減については、障害者が引きこもることのないよう、外出しやすい支援等を行うため、他の障害者福祉サービス料金とのバランスや近隣市町等の動向、財政負担の見直し等を考慮しながら見直しを検討していきたい。



仲井静子



問

スマホなどのデジタル機器を使用しない・制限するデトックスの取り組みについて

答

デジタル機器を使える時間帯の制限など、地域全体の共通認識で取り組みたい

質問 1
携帯電話・スマートフォン等、インターネットの危険性と保護者の役割について

問 インターネットに接続できる携帯電話等が急速に普及したことにより、保護者の目の届かないところで子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が増えていく。情報発信によるトラブルの被害者・加害者にならない為、学校・家庭・地域が連携し、町全体で本腰を入れて取り組むべきでは。

答 町長 教育委員会・PTA・民生児童委員・青少年健全育成町民会議といった子どもや青少年の関わる団体にも呼びかけネットいじめ・ネットによる青少年犯罪の防止についても啓発や講演会など行おう。

答 教育長 インターネットは生活の隅々まで広がり、その中でインターネットにかかわるトラブルが拡大・低年齢化している。又、ご指摘の通り、インター

ネット利用時間の増加に伴う子どもたちの学力低下も懸念されている。そこで町では、PTA・学校・地域が連携し子どもたちをインターネットの負の側面から守る為「こむぎつつちから3つのお願い」を作成、広報7月号とともに全家庭に配布する準備を進めている。今後は、「こむぎつつちから3つのお願い」をもとに、各学校で指導を行い、子どもに理解させると共に、様々な場面で各家庭のルールづくりを呼びかけ、さらに情報モラル教育を充実させていきたい。



夜はスマホも布団で、おやすみなさい...

質問 2
こむぎつつち号運行に係る実質的な費用負担について

問 平成28年度予算では、上里町「コミュニティバス運行事業補助金5422万5000円を計上。今回から運賃100円を頂上。今回から運賃100円を頂く背景には、国庫補助金・特別交付税を活用し、町の持ち出し金を少なくする試みとなつている。100%町が負担していた巡廻バスに比べ、今回のコミュニティバスの実質費用は。

答 今回導入したコミュニティバスは、有料化することにより、事業費の8割が特別交付税の対象。具体的には運行経費から運賃収入及び国庫補助金を引いた5162万5000円の事業費の8割が特別交付税として措置される為、残りの2割の1030万円が、今年度の実質的な負担額。平成27年度まで運行していた巡廻バスに比べ、実質的な町の負担金は、約868万円減額。

問 こむぎつつち号運行による町民の利用状況や反応について。

答 運航日数は3月が27日、4月が26日、合計53日。利用者数は3月が879人、4月が874人合計1753人。微増であるが利用者数は伸びている。

問 前回バス停留所にベンチを設置できる場所にはベンチ設置要望。埼玉県が取り組んでいる「バスまちスポット」を検討するとの答弁でしたが。

答 埼玉県が取り組んでいる、バス停留所近くにある商店・コンビニ・金融機関・公共施設などを対象に、バスが来るまで気軽に待てる施設として登録する「バスまちスポット」制度を今年度中に登録できるよう各施設に働きかけていく。

7月11日・12日の2日間、町内小中学校7校と本庄・上里学校給食センターを訪問しました。

各学校長、教頭先生より学校要覧をベースに教育目標、経営方針、教育指導の重点、目指す児童像、努力点等の説明をして頂き、また校内を巡回点検しました。委員会では全ての学校に対し、大きな関心事として「学力向上」「いじめ・不登校」「スマホ・携帯」「学校の設備」「通学路・自転車通学」について重点に質問をしました。



給食センターでは、安全で美味しい給食のできるまでの説明を受けました。



－「学力向上」「いじめ・不登校」「スマホ・携帯」－

学力は全国平均までは届いていないものの、教え方の工夫など各学校教職員の取組みが見受けられました。「いじめ・不登校」については、若干あるものの先生方と保護者で協力して対処している。「スマホ・携帯」については、最近の大きな関心事と捉え小学校高学年では約3割の児童が、中学生においては約6割以上の生徒が保有していると思われる。こうしたことからサイバーネットのDVD等による研修を実践している。

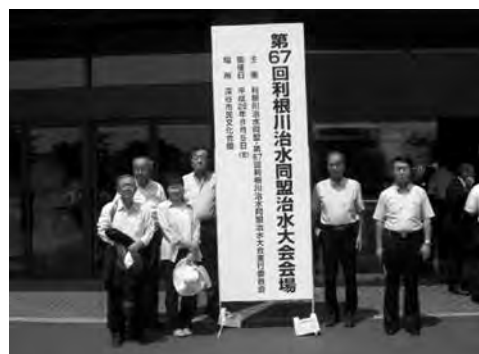
－「学校の設備」「通学路・自転車通学」－

上里中学校を除き老朽化が、目立ち始め、随所で不備が見受けられました。特に東小学校では体育館の雨漏り、増築接続部分の不備など。七本木小学校でも本校舎の雨漏り、プールの亀裂など。賀美小、北中ではトイレの改修が必要不可欠と思われる。通学路において課題はあるものの学校がボランティアの協力で事なきを得ています。

文教厚生常任委員会として学校運営や施設整備について、今後も各関係機関と連携をとりながら、意見交換をして改善を図ってまいりたいと思います。

第67回利根川治水同盟治水大会が、埼玉県深谷市で開催

暑さ真っ盛りの8月5日に総務経済常任委員会所属の議員6名と事務局で参加を致しました。昨年は千葉県の野田市で開催されましたが、今年度は地元開催ということで行程的に大変助かりました。



①治水同盟とは

利根川治水同盟は昭和22年9月に来襲したカスリーン台風によって甚大な被害が出たことによって発足をし、それを契機に各方面に予算の陳情や請願などの要望活動を行ない、河川や堤防などの整備など行ってきました。

②今年の大会は

埼玉県の上田清司知事を初めとする来賓の挨拶の後、『都市を豪雨から守るために今なすべきことは？』と題して早稲田大学 関根正人教授の講演があり、その後、事業概要説明、意見発表、大会宣言、大会決議を承認して閉会をしました。



最新の都市親水研究から見てきた課題と今後の対策について講演を聞きました

来年はカスリーン台風通過から70年経過の年になります。昨年の大会から1ヶ月後に関東・東北豪雨では鬼怒川の河川堤防が決壊し大規模水害が発生をしました。

今年度の大会は各地で発生している豪雨や異常気象などの自然と共存しながら、防災から減災へ考えを変えていくことが大切との話があり、何時起るともわからない治水の大切さを学んで会場を後にしました。



7/15 上里中学校改築竣工式 上里中学校体育館

平成27年6月から工事が進められていた『上里中学校新屋内運動場』が完成したことにより、上里中学校の建物改築が完了しました。

新屋内運動場の完成で耐震化事業が完了しました

7/17 消防操法大会公開訓練 イオン駐車場

8月20日の埼玉県消防操法大会に向けた公開訓練がイオン駐車場で行われ、議員からも熱い声援を送りました。

本番で力が発揮できるようがんばってください！



7/25 米原市議会行政視察 上里スマートIC

滋賀県米原市議会 産業建設常任委員会の皆さんが「上里スマートインターチェンジ」の視察にみえました。

現地において熱心に質疑が交わされました

8/2 明るい町づくりの意見発表会 上里町役場 4F大会議室

小学校5・6年生20名が「町をもっと自慢したい！かみさとPR大作戦」をテーマにアイデア満載の意見を発表してくれました。

貴重な意見を参考に上里町議会も一層努力してまいります



8/4・5 広域市町村圏組合議会行政視察 神奈川県厚木市・静岡県掛川市

児玉郡広域市町村圏組合議会において厚木市「斎場の運営について」、掛川市「環境行政の取り組み」として行政視察を行いました。

掛川市では「環境資源ギャラリー」を視察

議会日誌

6月

- 3日 6月定例会初日（開会、町長の行政報告、一般質問）
- 6日 全員協議会
- 6日 議案審議（27年度補正予算他）
- 6日 総務経済常任委員会
- 6日 文教厚生常任委員会
- 9日 定例会最終日（人権擁護委員の推薦等）
- 29日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

7月

- 4日 埼玉県町村議会議長会視察研修（～5日）
- 6日 児玉郡町議会議員前期研修会
- 11日 文教厚生常任委員会学校訪問（～12日）
- 14日 社会を明るくする運動講演会
- 15日 上里中学校体育館竣工式
- 15日 総務経済常任委員会
- 19日 議会だより編集委員会
- 25日 滋賀県米原市議会視察来庁
- 26日 国道17号建設促進期成同盟総会

8月

- 2日 明るい町づくり意見発表会
- 3日 本庄上里学校給食組合議会
- 4日 児玉郡市広域市町村圏組合議会行政視察研修（～5日）
- 5日 利根川治水同盟治水大会
- 16日 議会だより編集委員会
- 17日 議会運営委員会
- 27日 防災フェスティバル

平成28年 9月定例会一般質問一覧

	氏名	質問の要旨
2日 (金)	仲井 静子	①男女共同参画推進センターについて
		②循環型社会の取り組みについて
	岩田 智教	①児童虐待について
		②学校給食について
	飯塚 賢治	①被災者台帳被災者支援システム]の導入・運用について
		②雨水対策について
③空き家対策特別措置法施行後の放置空き家について		
新井 實	①朝型勤務で定時退庁促進について	
	②空き家の活用方法について	
	③地方都市の水道料金の見直しについて	
	④大地震における避難所外支援について	
5日 (月)	植原 育雄	①上里町の交通安全対策について
		②上里町内中学校の部活動について
		③上里町の排水等の対策について
	沓澤 幸子	①町の景観と環境改善について
		②貧困対策と子育て支援策について
	戸矢 隆光	①公共施設について
		②図書館について
		③農業施設について
	齊藤 崇	①町の農業施策について
②防火水槽の維持管理について		

今年も厳しい暑さが続いております。町民の皆様方に議会の様子や町政の動きを広く知って頂く為、一人でも多くの方々に目を通して頂きたく、今回からスッキリとした書体で読み易いユニバーサルデザインフォントで作成しました。又、昨年の6月定例会から本会議の録画配信

編・集・後・記



紙面での情報提供やインターネットを使用しての情報提供等、今後も創意工夫した『議会だより』をお届け出来るように編集委員一同取り組んでまいります。

議会だより編集委員会

- 委員長 新井 實
- 副委員長 仲井 静子
- 委員 植原 育雄
- 委員 岩田 智教
- 委員 齊藤 崇
- 委員 戸矢 隆光

9月定例会を傍聴しませんか

◆手続きは簡単です◆

定例会は、9月2日（金）に開会の予定ですが、一般質問は2日（金）、5日（月）の2日間を予定しています。

お問い合わせは議会事務局へ

電話 35-1216(直通)

12月定例会の一般質問は、11月下旬に町ホームページ・フェイスブック等に掲載しますので、ご確認ください。

